

経済産業常任委員会報告書

令和2年12月10日第4回定例会における議決に基づき、当委員会の所管について調査した結果を下記のとおり報告する。

令和3年2月10日

七飯町議会議長 木下 敏 様

経済産業常任委員会
委員長 長谷川 生 人

記

【所管事務調査事項】

第11次町道整備5ヶ年計画について

令和2年12月18日、令和3年1月13日、2月10日の3日間、委員会を開催し、経済部長、土木課長の出席を求め、提出資料に基づいた説明の聴取を行った。

1 調査の目的

第11次町道整備5ヶ年計画の概要及び整備状況を把握するため、調査を行った。

2 調査の方法

第11次町道整備5ヶ年計画の提出を求めたほか、経済部長、土木課長への聴取を行った。

3 第11次町道整備5ヶ年計画について

第11次町道整備5ヶ年計画は、令和2年度から令和6年度について、重点的に整備する路線を選定し、計画的に道路整備を進めるために策定されたものである。

(1) 町道の現状及び整備状況について

令和元年度末現在における町道の路線数は、600路線で5年前（平成26年度末現在）に比べ19路線の増加（3.3%増）、総延長は317,581.8メートルで11,631.8メートルの増加（3.8%増）、改良済延長230,147.1メートルで13,424.2メートルの増加（6.2%増）、舗装済延長230,044.7メートルで13,725.5メートルの増加（6.3%増）となっている。

一方、地区別の町道整備の状況としては、桜町、中野、峠下、仁山、大沼町、東大沼地区の整備が比較的遅れているが、人口分布及び可住地などの要素を考慮すると、一定の整備が図られている。

(2) 第10次町道整備5ヶ年計画の評価

前計画である第10次町道整備5ヶ年計画（計画期間：平成27年度～平成31年度。以下「第10次計画」という。）の換算延長等による達成状況は、表1のとおりである。換算延長については達成率118.4%、路線数については達成率102.2%となり、ともに計画を上回る実績となった。

また、第10次計画の事業費ベースによる達成状況は、表2のとおりであり、当初計画路線の着手は、路線数が少なく金額的には全体事業費は計画額1,640,364千円（単年度平均328,072千円）に対し、実施済額829,815千円（単年度平均165,963千円）で、達成率は50.6%であった。

【表1】第10次計画の達成状況（換算延長、路線数）（単位：m、%、路線）

区分	計 画			実 施 済			達 成 率		
	補助	単独	計	補助	単独	計	補助	単独	計
換算延長	1,997	4,763	6,760	1,725	6,277	8,002	86.4	131.8	118.4
路線数	5	40	45	4	42	46	80.0	105.0	102.2

【表 2】 第 10 次計画の達成状況（事業費）

（単位：千円、％）

区 分	計 画		着手実施済		増 減		達成率	
	路線	事業費	路線	事業費	路線	事業費		
国庫補助事業	5	772,664	4	445,049	△1	△327,615	57.6	
当初計画	5	772,664	4	445,049	△1	△327,615	57.6	
当初計画外	0	0	0	0	0	0		
単独事業	40	867,700	42	384,766	2	△482,934	44.3	
当初計画	40	867,700	21	259,366	△19	△608,334	29.9	
当初計画外	0	0	21	125,400	21	125,400	皆増	
合 計	45	1,640,364	46	829,815	1	△810,549	50.6	
当初計画	45	1,640,364	25	704,415	△20	△935,949	42.9	
当初計画外	0	0	21	125,400	21	125,400	皆増	
財源内訳	国庫支出金	/	433,859	/	206,317	/	△227,542	47.6
	道支出金	/	71,360	/	0	/	△71,360	0.0
	地方債	/	246,515	/	124,462	/	△122,053	50.5
	その他	/	55,000	/	100,440	/	45,440	182.6
	一般財源	/	833,630	/	398,596	/	△435,034	47.8

（3）第 11 次町道整備 5 ヶ年計画の概要

第 11 次町道整備 5 ヶ年計画の基本方針として、次の事項を掲げている。

- ① 本計画は、町道及び生活環境道路の新設改良事業計画（二次改築含む）であり、維持補修の事業は対象から除外する。
- ② 早期に整備効果を発現するために継続事業を優先する。
- ③ 第 10 次計画の積み残し路線については、整備の重要性、緊急性及び地域からの要望等を考慮し再検討する。
- ④ 新規事業については、整備の重要性、緊急性及び地域からの要望等を考慮し、優先順位を設けて整備する。
- ⑤ 計画策定後の社会情勢及び町財政の変化などに弾力的に対応していくため、毎年度、計画の見直し（ローリング）を行う。

また、第 11 次町道整備 5 ヶ年計画の重点目標を次のとおり設定し、道路整備を進めていくこととしている。

① 幹線道路網の形成

函館新道や北海道縦貫自動車道、函館新外環状道路など道南地域の高速交通ネットワークの整備が進められており、併せて七飯町を縦断する一般国道5号や主要道路等の整備促進を関係機関に要望するとともに関連する町道の整備を図る。

② 新幹線事業との連携

新函館北斗駅や函館総合車両基地に接続する町道の整備を図る。

③ 生活環境の向上

市街地を中心とした生活道路は、老朽化が進行しており、二次改築や凍上対策等の道路整備を図る。

④ 暮らしの安心安全

交通事故防止対策や歩行者、自転車の安全確保のために歩道等の整備を図る。

⑤ 地域振興の発展

平成30年に開業した道の駅「なないろ・ななえ」周辺の道路整備や町の基幹産業である農業と観光、さらに工業を含め産業活動の支援のための道路整備を図る。

⑥ 災害防止のための道路整備

大雨による災害防止のため、傾斜地の道路や排水施設の整備を図る。

委員からは、第11次町道整備5ヶ年計画においては第10次計画と比較して事業費が減少していることについての質疑があり、町としては、令和3年度からは補助事業を一時凍結し、維持補修へ重点的に予算を配分していきたいとの考えであった。

なお、第11次町道整備5ヶ年計画の総括表は、表3のとおりである。

【表3】第11次町道整備5ヶ年計画事業費総括表 (単位：千円・路線)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計	
新規事業費	220,500	18,500	15,000	15,000	9,000	278,000	
財源内訳	国庫支出金	117,600	0	0	0	117,600	
	道支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	92,610	16,650	13,500	13,500	8,100	144,360
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	10,290	1,850	1,500	1,500	900	16,040

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
継続事業費		98,800	36,500	40,000	40,000	46,000	261,300
財源内訳	国庫支出金	40,800	0	0	0	0	40,800
	道支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	52,200	32,850	36,000	35,730	35,100	191,880
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	5,800	3,650	4,000	4,270	10,900	28,620
合 計		319,300	55,000	55,000	55,000	55,000	539,300
財源内訳	国庫支出金	158,400	0	0	0	0	158,400
	道支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	144,810	49,500	49,500	49,230	43,200	336,240
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	16,090	5,500	5,500	5,770	11,800	44,660
補助事業		264,000	0	0	0	0	264,000
単独事業		55,300	55,000	55,000	55,000	55,000	275,300
路線数	新規事業	6	4	2	2	1	7
	継続事業	8	8	9	9	10	15
	補助事業	2	0	0	0	0	2
	単独事業	12	12	11	11	11	20

※路線数の計は、計画路線数。

4 まとめ

第11次町道整備5ヶ年計画について調査を行ったところ、当該計画は今後の町道網の計画的な整備を行うためには必要な計画であると考えられる。

前計画である第10次計画における達成率は、換算延長及び路線数では計画を上回る達成率となっているが、事業費ベースでは計画を下回る達成率となっている。町としては、令和3年度からは補助事業を一時凍結し、維持補修へ重点的に予算を配分していきたいとの考えを示していたが、今後も国庫支出金等の確保に向けて引き続き要望を続けていきたい。

本計画に記載された事業の実施に当たっては、財政状況が厳しい中ではあるが、財政当局と十分協議し、本計画に沿った計画的な道路整備が行われることを望み、委員会報告とする。